

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ペンシルベニア大学
-----	-----------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	107,068 円	
図書費	円	
学用品費	1,975 円	
携帯・インターネット費	11,310 円	
現地通学費	円	(研修先まで 5分)
教養娯楽費	円	
被服費	56,129 円	
雑費	4,931 円	
その他	32,883 円	例:お土産
その他	円	例:
合計	214,296 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか 特にありませんでした。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法:空港で2万円両替しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか 空港で Wi-Fi をレンタルしました。寮と大学には Wi-Fi がありました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか 寮には生活用品がないのでドライヤーや自炊したい人はフライパンなどをもっていかないといいけません。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等) <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ 治安が悪いと思っていましたが、特に危険なことなどはありませんでした。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)

寮も大学でも問題なく Wi-Fi は使えました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

風呂トイレを隣の部屋の人と共有するので潔癖の人などは大変だと思います。私はドライヤーくらいあるだろうと思っていたのですが、そういうものは一切おいてないので必要な人は持って行ったほうが良いです。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容

リーダーシップ

リーダーとはどんな特徴を持った人なのかなど主にクラス内でディスカッションやプレゼンをする。

2) 課外プログラムについて

ワシントンに週末に行った

3) 滞在先・現地での生活に関すること

隣の人とは良い関係を作れるようにしたほうが良いと思います。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私は自分の英語力向上と海外へ行ってみたいという理由から今回参加を決めました。海外へ行くのが初めてで不安なことも多かったが、貴重な体験をたくさんすることができとても濃い一か月を過ごすことができました。授業については、日本でのものと違い少人数で毎授業話し合いなどがあり、たくさん発言しないといけないです。大切だと思ったことは、文法など完璧に話そうと意識しすぎないことだと思います。多少間違っても自分の考えを伝えることが大切だと思いました。生活面については、かなり苦労する部分が多いと思います。バスルームを隣の人と共有するのですが、隣の人が同じ大学の人の場合もあればまったく知らない人である可能性もあるので覚悟が必要です。また、女性男性関係なく部屋が割り当てられるので、女性は大変だと思います。アメリカは食費が日本の3倍以上はするので、食費には注意が必要です。キッチンでは電子レンジとIHしか置いてないので、料理したい人は調理道具を持っていか現地で買わないといけません。レンジで食べられるご飯などもっていくと良いと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ペンシルベニア大学 IAPS2023 春季
-----	-----------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	55167 円	1ドル150円換算
図書費	1950 円	教科書代
学用品費	0 円	特になし
携帯・インターネット費	8000 円	日本で SIM カードを買っていった
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩5分)
教養娯楽費	12000 円	
被服費	0 円	
雑費	41958 円	お土産
その他	0 円	例:
その他	0 円	例:
合計	119075 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
英文口座残高証明書の発行に思ったよりも時間がかかったこと。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本の銀行にて40ドルほど持って行った その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
日本の電化製品店にて30日分12ギガを購入した
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日本食の存在は大きかった、ハンガーと調理器具、除菌シートを持っていけばよかった

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
一人での外出は極力控えて、夜は特に外出しなかった 被害にはあっていない
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

特に困った点はない

滞在形態関連
1) 留学中の滞在先の種類
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
水回りは知らない外国の方と共用です。湯舟はないので軽くシャワーを浴びるのみです。音は響きますし、布団も薄いです。不便な点もあるかと思いますが慣れれば思ったより大丈夫でした。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
選択の授業では一つのテーマに沿った授業を一か月勉強するのでその議題に関して様々な英語を身につけることができました。また思っていた以上に課題が多く出されるため授業が終わった後も課題に追われることがほとんどであり、学校以外の時間も英語に触れることができました。
2) 課外プログラムについて
ワシントンに連れて行ってもらい様々な建築物や美術館を鑑賞したり、フィラデルフィアならではの観光地に連れて行ってもらい興味深く、有意義な時間を過ごせた。
3) 滞在先・現地で生活に関すること
自炊することをおすすめします 思っていたよりもあつという間なので、課題をする日と遊んだり観光をする日等、予定を組んだりメリハリをつけて無駄な一日を作らないことをおすすめします

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

<p>ペンシルベニア大学が世界でも有数の大学であったことと寮生活だったこと、自分の関心・レベルに合わせた授業を履修できることに惹かれこの留学先を選択しました。</p> <p>2月のペンシルベニアは思ったよりも寒く、雪の日もありました。生活圏では大学、スーパー、スタバやパン屋さんなど徒歩圏内に生活物資が揃っているのでもあまり困ったことはなかったです。ただ市街地や大きなアウトレットにお出かけするときに subway か trolley、バスを利用するのですが特に subway と trolley は地下にあり治安も悪く異臭がするので夜は安全のために Uber で帰ることが多かったです。授業は週5回で朝からあるため自分で生活リズムを作ることが大切だと感じました。授業内では日本と違って先生から発言や自分の考えを問われることが多く、頭で考えたことを英語で言語化する良いトレーニングになったと思います。現地の学生との交流はほとんどありませんでしたが、大学内で開催されているイベントが多数あるのでSNSを見て積極的に参加することをおすすめします。ワシントンとニューヨークが近いのでアメリカの観光地を巡ることができ、またアメリカ発祥の地としての深い歴史を学べるのがこの大学を選択することの大きな利点だと思います。私はこの大学を選択し一か月濃い時間を過ごせたことは今後の自分への大きな財産になると思っています。迷っているのなら行かれることを強くおすすめします。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ペンシルベニア大学 IAPS2023 春季
-----	-----------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	78,397 円	日本から持ち込んだ食事の費用は除く
図書費	1,950 円	授業のテキスト代
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5,980 円	SIM カード
現地通学費	0 円	(研修先まで 10 分)
教養娯楽費	3,000 円	
被服費	10,500 円	
雑費	2,895 円	
その他	29,614 円	例: 現地での交通費、ニューヨークへのバス代
その他	21,000 円	例: お土産代
合計	153,336 円	1ドル=150円での計算、小数点以下切り捨て

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
とくになし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港で円をドルに両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
SIM カードをネットショッピングサイトから購入
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
パックご飯等の食品、ビニール製のサンダル(自分の部屋とバス、トイレの部屋との行き来の際に使用)

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
「たびれじ」の登録、友達との情報共有 夜中に外にでない
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

問題なし

滞在形態関連
1) 留学中の滞在先の種類
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<p>部屋のカードを自分の部屋に忘れてしまうと、フロントの人に言ってドアを開けてもらう必要があります。また、それが数回続くと罰金を求められるので注意です。乾燥機は寮にありますが、料金がかかるのと部屋が乾燥するため部屋干しをしたい人はハンガーや干すための道具をもっていくとよいと思います。シャワー後にそのまま履けるので百均などで売られているビニールサンダルも持っていくと便利だと思います。</p>

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
<p>授業ではディスカッションやプレゼンテーション、現地の人へのインタビューなど英語を話すことがメインの内容が多く、スピーキング力をつけることができます。</p>
2) 課外プログラムについて
<p>ワシントン D.C や博物館など、アメリカの歴史を感じる場所に訪ねることができ良かったです。</p> <p>スポーツ観戦では現地の人とともに盛り上がり観戦することができました。</p>
3) 滞在先・現地での生活に関すること
<p>最初のうちは慣れないことも多いとは思いますが、生活しているうちに慣れてくると思うのでそんなに心配しなくてもよいと思います。</p>

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

<p>私がペンシルベニア大学で研修をしたいと思った理由は、英語そのものだけを学ぶのではなく英語を通じてアメリカの文化を学ぶというところがよいと思ったからです。普段から勉強を続けている英語を実践的に使うことができる機会になると思いました。実際の授業では同じプログラムのクラスメイトにより刺激をもらいながら学習をすることができました。また、研修先のペンシルベニア大学の施設や大学図書館を使用し、アメリカでの大学生活を経験することができてとても貴重な体験でした。授業外の自由時間ではニューヨークに行くなど、観光としてもアメリカを楽しむことができました。</p> <p>今まで学習してきた英語を使ってアメリカ生活を楽しみたい方におすすめです。</p>



国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ペンシルベニア大学 IAPS2023 春季
-----	-----------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	108,000 円	
図書費	1950 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 7 分)
教養娯楽費	36,303 円	
被服費	0 円	
雑費	6750 円	
その他	26,620 円	例: スーパーでの買い物
その他	円	例:
合計	182,623 円	

渡航準備について

1) ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特に困ったことはありません。
2) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 銀行から 800ドル両替 その他用意したもの: <input type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
データローミングをして、アメリカで使用しました。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
電気ポット、カイロ、常備薬(風邪薬)など 特に、薬は色々準備してたくさん持って行った方がいいと思います。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
危険事件はほとんどありませんでしたが、事件があった際は大学からメールが届いていましたし、巻き込まれることもありませんでした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)

寮には無料 WIFI があったため、とても便利でしたし接続も安定していました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

部屋は 1 人 1 部屋(個室)を使用し、トイレは自分の隣の部屋の人と一緒に使います。キッチンが階ごとに一つずつあります。(自炊可)また、地下にランドリーがあり、乾燥機もあるのでとても便利でした。部屋のカードとトイレの鍵をもらうのですが、失くしたら罰金(50ドル)を払わなければならないので、必ず失くさないように注意してください。去年の留学報告書で寮に対する評価があまり良くなかったのが、心配しましたが、思ったよりとても快適に生活することができました。個室に冷蔵庫も備えてあったので便利でしたし、ヒーターもあるので寒いと感じませんでした。ですが、部屋ごとに壊れている家具や備えていない物などがある可能性があるため、きちんと確認しなければすぐにフロントに伺ってください。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容

個人的に elective class が一番役に立ったと感じました。4 つの選択科目のうち、自分が興味のある科目 2 つを選択して受けることができます。授業では英語で自分の意見を言う機会が多くあり、同じクラスの友達とディスカッションも多いため、英語力を伸ばすことができます。また、個人発表やグループ発表があるので準備をしながら英語の能力がとて伸び、英語に対する自信を持つことができました。

2) 課外プログラムについて

課外プログラムとして、有名な美術館や博物館、大学のスポーツゲームなど様々な場所を訪れました。勉強以外にも多様なアメリカ文化を楽しむのに適していると考えます。

3) 滞在先・現地での生活に関すること

アメリカは食費がとても高いです。バスや地下鉄での治安があまり良くないし、夜遅くも危ないのでなるべく寮にいておススメします。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

この研修先を選んだ理由 : アメリカの名門大学でよい機会だと思っし、プログラムのカリキュラムも気に入りました。プログラムに参加する学生はほとんど日本人でしたが、明治大学だけでなく様々な大学の学生と一緒に勉強することができました。また、elective class/core class が小人数の授業で行われるため、友達や先生との親近感が非常にあります。アメリカの授業方式は日本と違って自分の意見を積極的に発言し、相手の意見を聞くことも多いので、英語の実力に役に立つだけでなく、多様な考え方を通して自分の視野を広げることもできます。

学校外プログラムでは、週末にワシントン DC に行く日程やフィラデルフィアの有名な名所を訪問してフィラデルフィアの歴史についても学ぶ機会がありましたし、週末を活用して友達とニューヨークに遊びに行けます。また、大学のバスケットボール試合やホッケー試合のような日程もあるので、アメリカ文化を楽しむことができます。

寮生活が初めてだったのでいく前には心配を沢山しましたが、新しい友達と付き合うことができたし、友達と忘れられない面白い思い出を作ることができました。また寮内では日本人だけでなく多様な国の人々の友達に会うことができます。

一ヶ月という時間は思ったよりとても短いですが、アメリカで過ごしながら英語にもたくさん触れ、多様な友達と人々に会って自分の価値観を広げることができました。春休みの間、英語力を伸ばしたいし、様々な経験をしてみたいと留学を悩んでいる人に積極的におすすめします！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ペンシルベニア大学 IAPS
-----	----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 13 万 円	レストランにはあまり入らず、テイクアウトで済ませることが多かったです。チップを払う機会が多い場合は、これよりも高くなることが予想されます。
図書費	約 1300 円	現地で指定の教科書を購入しました。現金払いと聞いていましたが、カードでも大丈夫そうでした。
学用品費	0 円	特に購入しませんでした。
携帯・インターネット費	0 円	ソフトバンクのアメリカ放題を使ったため、別途で何かを支払うことはしていません。
現地通学費	0 円	(研修先まで徒歩約 10 分) 寮から歩いて学校に行きました。スーパーや薬局なども徒歩圏内にありました。
教養娯楽費	0 円	
被服費	約 2 万 円	
雑費	約 3 万 円	お土産代など
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	約 20 万 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

短期留学の 3 ヶ月ほど前にハワイ旅行に行ったときに ESTA を取得していたので、大使館面接が免除になりました。そのため、ビザの申し込みで困ったことは特にありません。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 渡航前に 50 ドル程度両替

その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか

ソフトバンクのアメリカ放題を使用し、通信で困ったことは特にありませんでした。

しかし、アメリカの電話番号を持っていなかったことで以下の場面で困ることがありました。

- ・寮のコインランドリーが使用できない(→アメリカの電話番号を持っている友だちと一緒に洗濯させてもらっていました)
- ・ニューヨーク旅行に使ったバス(megabus)の購入画面で、日本の電話番号が承認されない(→友達にアメリカの電話番号を借りました。)

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

【準備して良かったもの】

- ・折り畳み式の電気ケトル(→部屋でお湯を沸かせたのが便利でした。)
- ・レンジ調理できるお米、粉末スープやリゾットなど(朝ごはん、夜ご飯を部屋で済ませたいときに便利でした。ただ、シリアルやベークルなど、現地で調達するのもありだと思います。)
- ・キャンプ用品(折り畳みのマグカップ、スプーン・フォーク・ナイフが一本でまとまっているもの等)
- ・最低限のティッシュやトイレトペーパー(現地調達も可能ですが、深夜到着だったため初日の分は最低限必要でした)
- ・ハンガー(数本は寮にあるだろうと思っていましたが、全くありませんでした)
- ・マスク(暖房で部屋が乾燥するのでマスクがあるといいと思います)
- ・マイボトル(寮や学校にウォーターサーバーがあったので、マイボトルを持ち歩いていました)
- ・食器用洗剤、スポンジ(マイボトルやマグカップを洗うのに使いました)
- ・洗い流さないトリートメント(シャワー後に髪の毛がパサパサになってしまったので、たくさん消費しました)
- ・スリッパ

【準備した方が良かったもの】

- ・洗濯ネット(忘れてしまったため現地調達しようと思ったのですが、どこにも売っていませんでした。)
- ・掃除用品(コロコロなど)

現地情報
1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
初日のオリエンテーションで設定するメールアドレス宛に学校からメールが送られてきました。また、日が沈んだ後はできるだけ出歩かない事、やむを得ない場合は Ubertaxi を利用しました。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
初日のオリエンテーションで WIFI の設定を行います。大学内では問題なく接続できましたが、寮では寮のフリーWIFI を使用していました。

滞在形態関連
1)留学中の滞在先の種類
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<p>【部屋について】</p> <p>部屋は最低限の設備なので、何か必要なものがあれば持参するのがいいと思います。ベット、棚、簡易冷蔵庫、テーブル、暖房装置、クローゼット、ライトが部屋にあります。ライトはベットとテーブルの二か所のみなので、基本的に部屋の中は薄暗いです。</p> <p>【共用スペースについて】</p> <p>トイレ、お風呂、キッチン、共用冷蔵庫が各フロアにあります。トイレとお風呂は隣の部屋の人と共用です。綺麗とは言えませんが、すごく汚いわけでもないです。(一年前の留学報告書に「トラブルだらけだった」というような記載があったので覚悟していたのですが、思ったよりも快適でした。ただ、隣の人と共用なのでかなり気を遣いました。付箋などで隣人とうまくコミュニケーションをとりながら過ごしている人もいました。)お風呂について、初日は若干のカルチャーショックを受けましたが、徐々に慣れました。</p> <p>【その他】</p> <p>寮での滞在は想像の数倍快適でした。歩いて 10 分弱の場所にスーパーがあったり、おいしいパン屋さんやコンビニ、様々なレストランがあり、不自由を感じることはありませんでした。また、一緒に派遣される明治生は全員同じ寮でし、同じ授業を受けている多くの学生も同じ寮に滞在していたので安心出来ました。ひとり部屋でプライベート感が確保されていたのも良かったです。ネガティブな面に関しては、騒音です。夜通しサイレンの音が聞こえたり、道路に面していて車のクラクションや通行の音が結構うるさいので慣れるまでかなり睡眠不足でした。音に敏感な人は耳栓を持って行ってもいいかもしれません。また、夜の気温に対して布団はかなり薄めです。カイロを持って行ったり、暖房をつけても乾燥しないようにマスクを持っていくといいと思います。また、部屋で一人であるのが嫌な人は、一回に共有スペースがあるのでそこで友だちと課題をやったりするのもいいと思います。</p>

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容

私は 3 つの授業を受講しました。いずれも研修プログラムの授業で、現地生の授業は受講しませんでした。

【Leader Ship】

グループワークなどを通して「良いリーダーとは何か」ということについて考えました。先生が明るくて陽気な人だったのが印象的で、「ザ・アメリカの授業」という感じがしました。

【Sustainability】

持続可能な生活について考える授業でした。先生が中国人の方だったので、アジア人にとって難しい発音の練習をしてくれた事もありました。毎週プレゼンを行いました。

【Core class】

3 つの授業の中で最も授業時間が長く、高校時代の英語の授業を思い出すような授業形態でした。(リーディングがあったり、小グループでのディスカッションなど)

ベンジャミンフランクリンについて、アメリカの文化について、移民についての内容を 4 週にわたって学習しました。実際にアメリカ人や移民に対してインタビューする機会もあり、おもしろかったです。

2) 課外プログラムについて

午後のアクティビティーは、週に 3 回程度ありました。1 時間のゲストレクチャーや、コアクラスでの学習に沿った day-trip のようなもの(アメリカの多文化主義を感じるマーケットに行き、実際にインタビューを行うなど)を行ったり、ホッケーを観に行ったりしました。また、スケジュール外でも、ペン大で行われるバスケットボールやラグビーの試合を観に行ったり、ショッピングをしたりとさまざまな経験をすることができました。

3) 滞在先・現地での生活に関すること

●寮について

部屋には机と椅子、ベッド、棚、クローゼットがあります。寮は原則 1 人部屋、トイレやお風呂、キッチンが共用です。先輩の報告書に「寮では様々なトラブルが起こり、問題解決力が上がった」というような記述があったので割と覚悟して行ったこともあり、あまり嫌な思いはしませんでした。ただ、トイレとお風呂は隣の部屋の人と共有で使うので、お風呂のタイミングなどは気を遣いました。また、あまり清掃されている様子はなく綺麗ではないです。(嫌になる程汚いというわけでもないです。)キッチンはとても清潔でした。シンク、電子レンジ、食洗機があります。調理器具はないので、友人はフライパンなどの調理器具を持参していました。(寮から徒歩 10 分程度の場所にある ACME というスーパーにもフライパンは売っていたので、必要があれば現地調達もありだと思います。)

・部屋にはハンガーがないので、持って行った方がいいかもしれません。(寮から公共交通機関を使って行けるセンターシティの方まで行けば現地調達可能です。)

・一階のロビーでみんなで課題をやったりして、とても楽しかったです！

●治安について

・私はフィラデルフィアのことをあまり知らないまま研修に申し込み、派遣が決定した後に調べ始めて驚きました。ですが、思ったほど治安は悪くありませんでした。寮が大学の敷地内にあるので、比較的安心できると思います。ただ、できるだけ日が沈む前に帰ること、日が沈んでからの帰宅になる場合は UberTaxi を使うなど意識はしていました。また、寮のセキュリティは緩めです。ロビーまでなら誰でも入れますし、エレベーターを降りた後に共用部には入るにはそれ用の鍵が必要なのですが、階によってはそのドアが常時開かれている場合があります。(自分の部屋の前まで誰でも入れる状況になってしまう場合があります。)また、インキーをしてしまった時は、受付に部屋番号を伝えるだけで開けてもらえます。名前の確認なども特にないので、悪用できてしまうように感じました。慣れた頃には部屋の中に無防備な状態でパスポートを置いたりしていたので、無事で良かったと思いました。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。
(200 字以上)

【研修先の選択理由】

この研修先を選んだ理由は、2 点あります。1 つは、「英語の授業」を受けるのではなく「英語を使って別の何かを学ぶ授業」を受けられる点に魅力を感じたからです。特に、アメリカの文化や移民について現地で学習できるプログラムに魅力を感じました。2 点目は、ペンシルベニア大学という名門校に留学できる点です。「University City」を形成するほど大きな大学に留学できたことは、自分にとって貴重な経験になったと思います。

研修について(内容は年度によって異なる可能性があります)

研修は午前に行われる3つの授業と、午後のアクティビティーの2種類で構成されています。内訳としては、8:30-9:30 に Elective1(私の場合は Leader ship)、9:40-10:40 に Elective2(私の場合は Sustainability)、11:00-12:20 に Core class(これは全員同じ内容で、Unit1:ベンジャミンフランクリンについて、Unit2:アメリカの文化について、Unit3:移民について、Unit4:final reflection)のを1週間で1unit ずつ学習していきます。

コース選択については、Elective は派遣決定後に現地校から連絡がきて複数の授業から興味があるものを選ぶアンケートを行います。それに基づいて授業内容が決定し、クラスの割り振りが行われるようです。Core class は Advanced と intermediate に分かれていて、着いてからテストなどはありませんでした。

【学校の活動の中で良かった点】

- ・12 人程度の比較的少人数の授業だったので、発言の機会が多く、ディスカッションなどでも意見が言いやすかったです。
- ・想像していた「ザ・アメリカ」の授業を受けられたこと。私が受けた Leadership の担当の先生が非常に印象的でした。先生の思いつきで授業内で色んなアクティビティーが始まったりしておもしろかったです。
- ・ワシントン D.C.やフィラデルフィア美術館などに連れて行ってもらえたことです。

【学校の活動の中で想像と異なった点】

- ・同じプログラムを受けた日本人率の高さ。2 月で日本の大学生がちょうど春休みの時期ということもあり、クラスの 7 割ほどは日本人でした。残りはほとんど中国人で、1 人だけチリ人の方がいました。
- ・前述の内容とも少し重複しますが、自分から動かないと現地の人とは接点を持ってないこと。ただ、自分から積極的に動けば接点を持つことはできるかもしれません。特に、UPenn に実際に通う日本人学生による学生団体のようなものがあるのですが、彼らのイベントで接点を持つのが 1 番ハードルが低いように思います。また、ゲストレクチャーの教授に「授業を受けさせてほしい」と直談判している学生もいました。私は日々の課題に追われてそこまでの余力がなくできませんでしたが、余裕がある方は自分から行動してみるといいかもしれません。